

お知らせ
します



市の家計簿

市では「いわき市財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、財政状況を明らかにするため、①平成26年度決算のあらましと、②平成27年度予算上半期（4月1日～9月30日）の執行状況を作成・公表しています。
今月号では、公表している内容の概要をお知らせします。

※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げが合計と一致しない場合があります。

①平成26年度

決算のあらまし

一般会計

福祉や教育、土木など市の一般的な事業の大部分を経理する会計（震災の影響により規模が大きくなっています）

平成26年度の一般会計決算額は、歳入総額が2,126億4,628万円（対前年度比4.3%増）、歳出総額2,010億1,345万円（対前年度比3.7%増）でした。このうち、平成27年度へ繰り越した事業に充当した財源を差し引いた実質的な収支は、72億9,083万円の黒字となりました。

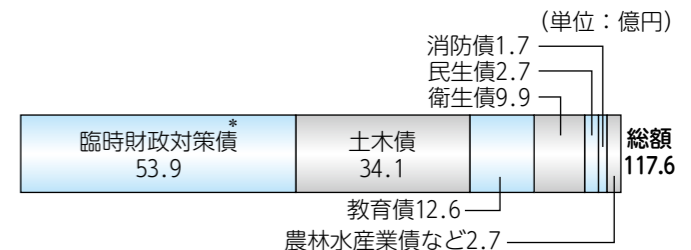
歳出の主な事業と費用

（単位：億円）

区分	事業内容	事業費
民生費	生活保護費	66.7
	児童手当給付費	55.3
	障害福祉サービス事業費	43.8
	私立保育所保育実施費	29.3
	児童扶養手当給付費	16.6
	重度心身障害者医療給付費	9.4
土木費	災害公営住宅整備事業費	135.7
	復興拠点整備事業費	34.2
衛生費	災害廃棄物処理事業費	73.4
	病院事業費	25.0
	塵芥収集費	11.1
消防費	除染推進事業費	101.8
教育費	給食センター施設管理運営費	22.3
	小・中学校建設費	16.0

市債使い道

市債を活用して整備した道路などは、皆さんが将来にわたり利用するものですので、返済は次の世代の方々にも負担してもらおうという考えに基づいています。



* 地方一般財源の不足に対応するため、地方財政法の特例として発行される地方債

市債を活用した主な事業

区分	事業内容
土木債	道路新設改良事業
	いわき駅周辺再生拠点整備事業
	公営住宅建設事業
教育債	小・中学校校舎等地震補強事業
衛生債	一般廃棄物処理事業
民生債	社会福祉施設整備事業

企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などにより補てんしています。（単位：億円）

会計名	収益的収支 ^{*2}			資本的収支 ^{*3}		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道事業	113.9	89.4	24.5	15.5	61.3	▲45.8
病院事業	201.9	264.7	▲62.8	33.1	40.1	▲7.0
合計	315.8	354.1	▲38.3	48.6	101.4	▲52.8

*1 減価償却費や資産減耗費など、現金支出を必要としないものを費用に計上することによって、企業内部に留保される金額

*2 1事業年度の経営活動により、発生が予定される収益とその費用

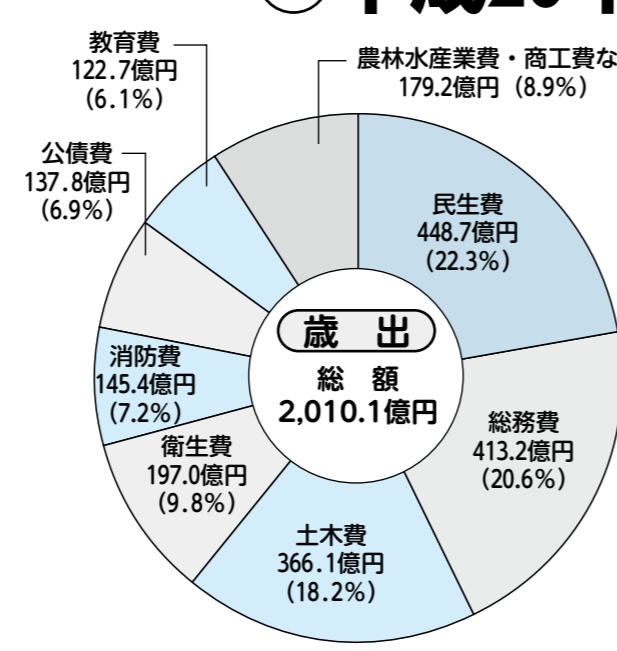
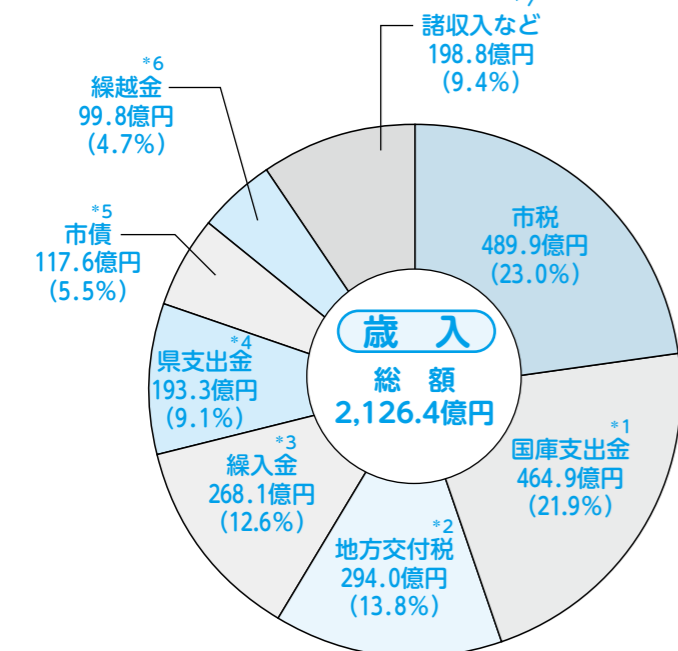
*3 将来の経営活動に備える建設改良や建設改良の企業債償還金などの支出と、その財源収入

特別会計

国民健康保険事業など特定の事業を行う場合、特定の歳入（国民健康保険税など）をもって特定の歳出（医療費など）に充てる会計

（単位：億円）

会計名	収入済額	支出済額	差引額
国民健康保険事業	398.3	367.6	30.7
後期高齢者医療	35.7	35.6	0.1
介護保険	289.4	283.7	5.7
母子寡婦福祉資金貸付金	1.3	1.0	0.3
土地区画整理事業	145.5	105.2	40.3
下水道事業	111.4	110.5	0.9
中央卸売市場事業	4.5	4.3	0.2
競輪事業	172.8	167.0	5.8
地域汚水処理事業	4.1	0.7	3.4
農業集落排水事業	3.5	3.5	0.0
財産区（5財産区）	0.3	0.3	0.0
合計	1,166.6	1,079.4	87.4



- *1 特定の目的のために国から交付されるお金
- *2 一定水準の行政サービスを提供するために国から交付されるお金（震災からの復旧・復興分を含む）
- *3 各種基金などから繰り入れられるお金
- *4 特定の目的のために県から交付されるお金

- *5 市が行う大規模な建設工事や災害復旧事業などに認められる借入金
- *6 前年度の会計から持ち越されたお金
- *7 貸付金の元金収入など、ほかの収入に含まれないお金

市民1人当たりの市民サービス

民生費 138,316円 児童や高齢者、障がい者福祉など	総務費 127,375円 市税や戸籍、選挙など	土木費 112,863円 道路や住宅、公園の整備など	衛生費 60,724円 各種検診や予防接種、ごみ処理など	サービス額 市民1人当たり 619,704円 151,026円 ※平成27年4月1日現在の人口324,370人で算出。
消防費 44,811円 消防・水防、救助活動など	公債費 42,473円 借入金（市債）の返済など	教育費 37,833円 学校教育や文化・スポーツ振興など	農林水産業費 24,428円 農業や漁業、林業の振興など	
災害復旧費・議会費など 11,334円 被災した施設の復旧、市議会運営など	商工費 19,548円 商工業や観光の振興など			

復興交付金を活用した主な事業

（単位：億円）

事業内容	復興交付金
災害公営住宅整備事業	135.7
小名浜港背後地津波復興拠点整備事業	34.2
小名浜地域水産業施設復興整備事業	32.4
優良建築物等整備事業	9.9
冷凍・冷蔵施設ライン整備事業など	39.8
合計	252.0

復興基金を活用した主な事業

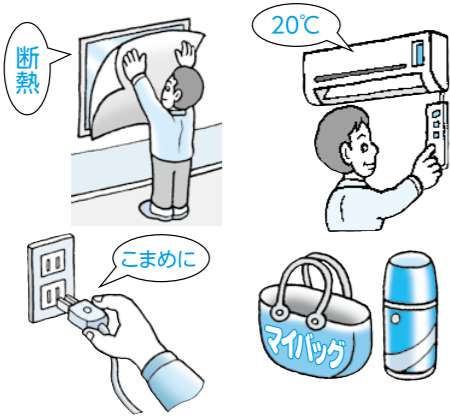
（単位：億円）

事業内容	復興基金
土地区画整理事業会計繰出金	6.1
工場等立地奨励金	4.9
（仮称）久之浜・大久地区地域総合施設整備事業	1.6
小名浜地域水産業施設復興整備事業費補助金	1.4
津波被災住宅再建支援事業など	4.9
合計	18.9

身近なことから取り組もう 12月は地球温暖化防止月間です



緑のカーテンコンクール大賞作品（アルパイン技研株）



地球温暖化を防止するためには、一人一人が普段から、環境にやさしい取り組みを心掛けることが大切です。身近で、できることから実践しましょう。

○**取り組みの一例**

- ・冬は暖房の温度を二十度に設定する
- ・暖房は、室内の空気を循環させ効率よく使用する
- ・エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- ・窓に断熱シートを貼って熱を逃がさない
- ・保温便座の温度設定を下げる

げ、使用後は便座のふたを閉める

- ・使用しない電気機器は、プラグを抜くか電源タップを切る
- ・エコドライブを実践する
- ・マイバッグ、マイボトルを持ち歩く

○**緑のカーテンコンクール受賞作品を決定**

緑のカーテンは、夏の省エネ効果や節電効果が期待でき、家庭でも楽しく取り組める地球温暖化対策です。

本年度の緑のカーテンコンクールは、アルパイン技研株式会社が賞を受賞しました。

来年は皆さんも、家族や会社、学校などで挑戦してみたいかがでしょうか。

○お問い合わせ
環境企画課
環境企画係
☎22・7528

トピックス
第12回いわき子ども環境賞コンクール最優秀賞
「[ミ]じゃない まだまだ使える [資源]です」
桶売中一年 根本真佑さん

認知症の方が安心して生活できるまちづくりを目指して

長寿介護課介護予防係 ☎22-7465

市は、認知症になっても住み慣れた地域で、安心して生活できるまちづくりを目指す取り組みの一環として「認知症あんしんガイド」を作成しました。また、認知症の方とその家族を、地域で支える仕組みづくりのため「認知症カフェ事業」を実施します。

- 認知症あんしんガイド**
- ▶内容 認知症の症状や認知症の方への接し方、進行に合わせた医療や介護サービス、相談先など
- ▶配布窓口 同課、各支所・地区保健福祉センター・地域包括支援センター



- 認知症カフェ事業「オレンジカフェ以和貴」**
- ▶とき 毎月第1金曜日 11時～15時
- ▶ところ スカイストア（平字一丁目25）
- ▶内容 専門職による相談、茶話会、レクリエーションなど
- ▶対象 認知症の方と家族、認知症のことで悩んでいる方、関心のある市民の方



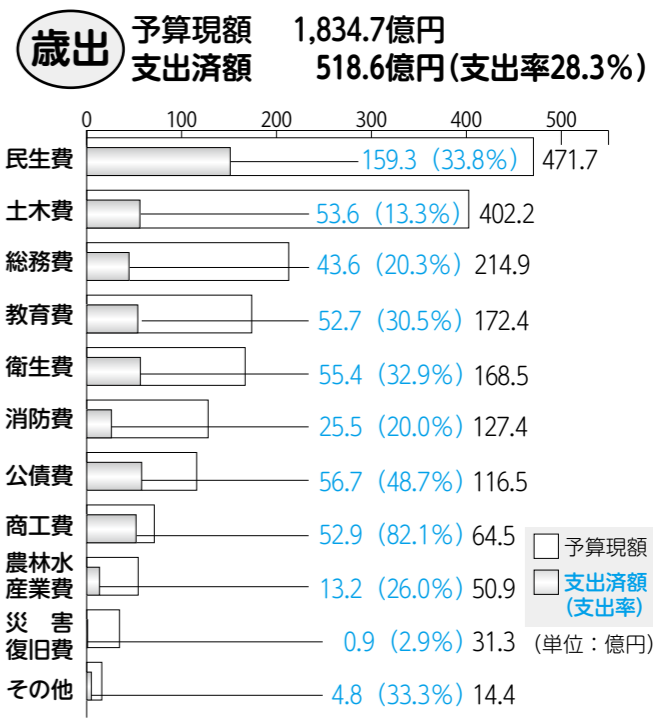
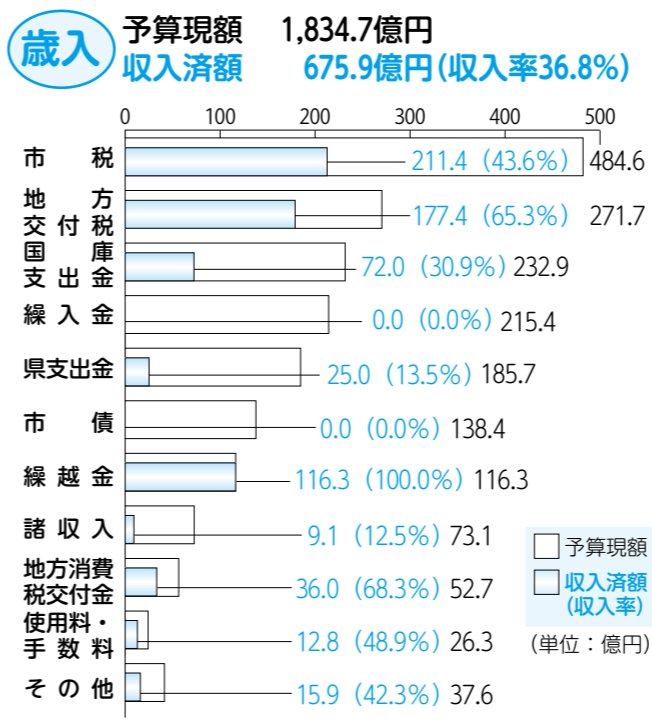
11月2日に行った開所式

②平成27年度予算上半期の執行状況

一般会計

平成27年度9月末現在の一般会計予算は、当初予算額1,541億6,160万円に、補正予算額など293億1,290万円が加わり、1,834億7,450万円となっています。

また、同日現在の収入率は36.8%、支出率は28.3%で、前年度同期に比べて、収入では3.6ポイント高く、支出では3.5ポイント低くなっています。



特別会計

会計名	予算現額	収入率(%)	支出率(%)
国民健康保険事業	425.7	45.3	43.0
後期高齢者医療	36.3	33.0	30.4
介護保険	301.9	44.3	40.3
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.2	58.5	40.9
土地区画整理事業	318.8	13.2	7.0
下水道事業	139.2	10.7	34.4
中央卸売市場事業	3.3	48.1	33.4
競輪事業	169.2	31.9	28.5
地域汚水処理事業	4.3	87.3	4.6
農業集落排水事業	2.5	5.9	44.0
財産区(5財産区)	0.3	47.1	27.6
合計	1,402.6	32.5	31.2

市債の現在高

区分	現在高	主な内訳
一般会計	1,118.3	臨時財政対策債462.1、一般単独事業債291.1、公営住宅建設事業債72.1、学校教育施設等整備事業債67.8、公共事業等債63.4、退職手当債57.6、減税補てん債など104.2
特別会計	782.0	下水道事業債664.0、土地区画整理事業債など118.0
企業会計	349.4	水道事業債297.9、病院事業債51.5
合計	2,249.7	

市の財産

一般会計・特別会計	企業会計
・土地=58,137,959㎡	・土地=753,632㎡
・建物=1,569,097㎡	・建物=83,605㎡
・立木=480,919㎡	・車両=62台
・車両=730台	・構築物など
・有価証券など=16億1,485万円	=868億3,930万円
・基金 { 現金=890億3,614万円	
現物=40億1,857万円	

企業会計

会計名	収入予算額	収入率(%)	支出予算額	支出率(%)
水道事業	152.9	36.1	198.6	14.4
病院事業	336.3	34.0	339.9	24.6
合計	489.2	34.7	538.6	20.9

一時借入金現在高

一般、特別、企業の各会計とも0円

市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。○お問い合わせ 財政課予算調整係 ☎22-7565